

中3クラス要項 [2025年度]

あざみ真学塾

<AZAMI>

対 象

- ・高校受験を目標とする中学3年生

指 導 科 目

英語・数学・国語・理科(全分野)・社会(歴史, 地理, 公民)

*5科目必修とする[選択受講は不可]。各科とも中1～3の全内容を高校入試用に指導。

学 期 制

- ・中3クラスは、3月下旬～翌年2月末までの1年間を、以下の4期に分ける。

第1期：3～5月末 / 第2期：6～9月末 / 第3期：10～12月末 / 第4期：1～2月末

組 編 制

- ・中3クラスは、原則として、以下の習熟度別4組編制とする。

B1 組：定員約10～12名 [榎町本部 101 教室]

【注】・原則として、

B2 組：定員約15～18名 [榎町本部 201, 202 教室]

B2組の国語は

C1 組：定員約15～18名 [榎町本部 201, 202 教室]

9月末までは

C2 組：定員約15～18名 [榎町本部 202 教室]

高師教室で行う。

この組編制は、全科目総合(英数国理社)の習熟度によって決定し、原則として、C2, C1, B2, B1の順だが、男女比等で $C2 = C1 / B2 = B1$ となる場合がある。

- ・各期ごとに、以下の要領で「組替え」を実施する。

第1期：当塾で行った「中3入塾試験」及び「学校成績(中2時)」等の成績を参考として所属組を決定。

第2～4期：各期ごとの「判定試験成績」「各期内の各種試験成績」「宿題成績」

「出欠状況」「授業態度」「学校の成績」等を基準として所属組を決定。

成績連絡通信制度

- ・各期ごとに、当塾から保護者へ直接に生徒個人別の「塾試験成績(全)」「出欠状況」「宿題成績」「塾意見(個人別講評)」を伝達し、同時に「入試情報, 資料」等も配付。

伝 達 時 期

第1期分：6月上旬 / 第2期分：10月上旬 / 第3期分：1月上旬 / 第4期分：2月下旬

各科目の指導内容 [注] 授業時間は下記の通りだが、進度や組により、最高3時間

英語・数学 [1回各2時間40分] じっせん

- ・各授業ごとに、授業前半＝塾テキスト[受験用]を使って中1～3範囲の受験指導（第3期（9月～）から中3既習事項を含む）/授業後半＝中3教科書内容を指導。

英語：授業前半で「受験指導（塾作成プリント＋重要問題）」、後半で「塾作成の中3教科書テキスト」の指導。随時、リスニング演習や長文読解演習を実施。

数学：各授業の前半で「受験指導（中1～2範囲の塾作成テキスト＋重要問題）」
各授業の後半で「中3教科書テキスト（塾作成）」を使って中3教科書内容を指導。

- ・英数とも12月までに塾テキスト&中3教科書は終了→1～2月は「入試直前対策」として塾作成プリントで中学3年間の総整理＋公立、私立入試用の実戦演習指導と予想問題。

理科・社会 [1回各2時間40分]

- ・理社ともに、中1～中3全範囲を受験用に指導するが、指導内容は以下の通り。

理科：単元ごとに「受験用総整理プリント」（塾作成）を配付して中1～3全範囲を指導し、別冊の「塾テキスト」で重要問題を解く（過去の入試問題を含む）。

社会：各授業ごとに塾作成プリント（教科書を受験用にまとめた総整理）を配付し、これを使用して、歴史、地理、公民の徹底理解と応用（思考力）を指導。

- ・理社とも12月までに中1～中3の全範囲を終了→1～2月は「入試直前対策」として毎回、塾作成プリントを使用して、入試用実戦指導と入試出題予想の授業内容。

確認テスト [英数理社/マークシート＋記述式]

- ・英数理社は、毎回の授業の最後に、当日の授業内容を範囲に確認テストを実施。
→生徒各自の授業への集中力を高め、自らの理解度を確認させるため。

国語 [1回2時間40分]

- ・毎回、塾作成プリント＋塾テキストを使用して、入試問題に即した受験指導を行う。

入試用漢字範囲表（塾作成）を配付し、毎回、漢字試験を実施→漢字の読み書きを習得
授業前半で「長文読解」（塾作成プリント/論説文、小説文）、「古典」「聞き取り」「作文」
授業後半で「国文法」（塾作成テキスト/文法総整理＋演習問題）を指導

- ・10月まで長文、11月に古典、12月に聞き取り、作文→1～2月は「入試直前対策」で実戦指導

質問カード制度

- ・授業中の生徒の質問は、その場で講師が回答するが、このほかに「質問カード」を生徒へ配付しておき、生徒が不明点などを提出→次回授業日に担当講師が解説解答を細かく書き、生徒へ返却（質問内容によっては、別時間で個別指導を実施）。

塾内実施の各種試験

定期試験：英数国の中3教科書の理解度を試すもの。学校の試験範囲に合わせる。

判定試験：塾の各期ごとに所属組決定の重要基準とするための試験(5科目)。

各期内の塾指導内容を全範囲とする。塾の各期末ごとに年3回実施。

塾模試：5科目の塾模試(国数英理社)、年9回実施。志望校合格可能性を判定。

(実力テスト) 業者テスト(進研、総進)及び当塾作成(入試予想)の模試。以下を予定。

第1回：4月 [進研 / 千葉県統一模試, 志望校合格判定]
第2回：6月 [総進 / 千葉県統一模試, 志望校合格判定]
第3回：8月 [進研 / 千葉県統一模試, 夏期講習最終日]
第4回：9月 [総進 / 千葉県統一模試, 志望校合格判定]
第5回：10月 [進研 / 千葉県統一模試, 志望校合格判定]
第6回：11月 [進研 / 千葉県統一模試, 志望校合格判定]
第7回：12月 [進研 / 会場テスト(進研の指定会場で受験)]
第8回：1月 [進研 / 千葉県統一模試, 冬期講習最終日]
第9回：2月 [当塾作成 / 千葉県公立高入試予想問題]

・業者テストは以前は中学校で実施されていたが、現在は塾中心に実施。千葉県内では、進学研究会と総進図書が最大規模。

学校試験対策 [内申対策]

- ・学校の間、期末試験の対策として、その約1週間前に学校の試験範囲に合わせ、塾作成プリントを使用して総復習する。
- ・総復習の後で、学校試験の予想も兼ねて「定期試験」(当塾作成)を実施。

夏期講習会・冬期講習会

- ・中3対象の講習会を、通常授業以外に実施。公開とし、塾外生の受講可とする。
- ・講習会では、当塾作成の講習テキストを使い、最終日に志望高判定模試を実施。

<u>夏期講習</u> ：7月末～8月中旬の約16日間、毎日約5～6時間ずつ中1～中3前半を範囲とした5科目の総復習と演習、応用力養成(7月上旬に要項配付)
--

<u>冬期講習</u> ：12月下旬～1月上旬の約12日間、中1～中3全範囲を入試用に総整理。公立、私立入試の出題傾向と対策、予想中心に指導(12月上旬に要項配付)
--

入試直前対策

- ・各科目とも1月～2月末の期間に「入試直前対策授業」として、塾作成プリントを使用して中学3年間の総整理を指導し、公立入試及び私立入試で出題可能性高い予想重要点を指導→毎年、当塾の予想が本番入試でも数多く出題されている。
- ・「私立高入試対策」(1月上～中旬)「千葉県公立高入試対策」(1月中旬～2月中旬)

宿題の提出

- ・英語、数学について、原則として ほぼ毎回の授業日に塾作成の宿題プリントを課し、この宿題に関しては、以下のように取り扱う。

1. 宿題は、該当科目の 次回授業日に必ず提出 すること（授業開始前に提出）。
2. 宿題はすべて点数をつけ、この成績は 所属組決定の総合点 に算入 する。
3. 宿題を当日に未提出の場合 又は 提出してもほとんどやっているとみなされた場合は 当日の 授業終了後に 塾教室に残り、宿題を完成させる場合がある（通常は、9:30頃まで）。

【注】・宿題内容は当日の授業内容（過去問含む）。未提出が多い場合は、退塾勧告の対象とする。

学校試験成績報告・塾模試成績表

- ・塾配付の「学校試験報告書」に、中学校の中間、期末試験、実力テストの成績 及び 学期末評点（5段階内申点）をすべて記入し、塾へ報告することとする。
⇒ 学校の試験結果が判明した頃に、塾から生徒へ「学校試験報告書」を提出するよう伝える。
- ・塾で実施した 模試成績（業者テスト）は、各生徒個別の「塾模試成績表」に当塾が 生徒の 成績＋個別講評 を書きこみ、業者発行の「個別成績表」（志望校合否判定表）と共に生徒を通して発行するので、保護者はその動向を把握すること。

高校入試説明会・入試情報提供

- ・中3入塾時の「保護者説明会」で高校入試の概略を説明、さらに10月に当塾主催の「高校入試説明会」を実施し、公立、私立高の入試内容、情報等を詳しく説明する。
- ・上記のほか、塾の各学期ごとに随時、入試情報を保護者へ伝達 する。

個別進学（進路）相談

- ・中3生に対し、本人の志望校の合格可能性、私立高選択、今後の進路等に関する相談を個別に実施する〔三者面談〕。また、勉強方法等の相談にも応じる。
原則として希望者のみとするが、この進学相談時に生徒が希望する公立高、私立高の各種入試資料、入試情報等を塾から提供する（面談時間＝1組約1時間）。
- ・個別進学相談の実施期間＝10月下旬～12月だが、希望により、保護者又は生徒が塾へ事前に連絡すれば、この期間以外でも相談に応じる。

家庭学習用問題集の紹介

- ・家庭学習用の受験問題集等を定期的に生徒へ見本を紹介し、希望者へ配付する。
⇒ 詳細は、口頭で説明。

各組の授業日程 ・原則として以下の通り。前月中に、翌月の「日程表」を配付。

夏時間（4月～9月末）〔冬時間（10月～2月）＝5:50～8:30〕

組/曜	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)	(日)	教室
B 1	理・社 (毎週) 6:20 ～9:00	予 備	英 語 (毎週) 6:20 ～9:00	数 学 (毎週) 6:20 ～9:00		国 語 (隔週) 6:20 ～9:00		本 部 101 (全科)
B 2	国 語 (隔週) 6:20 ～9:00		数 学 (毎週) 6:20 ～9:00		英 語 (毎週) 6:20 ～9:00	理・社 (毎週) 6:20 ～9:00		本 部 201, 202 (国語は 高師)
C 1	理・社 (毎週) 6:20 ～9:00		英 語 (毎週) 6:20 ～9:00	数 学 (毎週) 6:20 ～9:00			国 語 (隔週) 6:20 ～9:00	本 部 201, 202 (全科)
C 2	理・社 (毎週) 6:20 ～9:00	日		英 語 (毎週) 6:20 ～9:00	数 学 (毎週) 6:20 ～9:00		国 語 (隔週) 6:20 ～9:00	本 部 202 (全科)

【注意事項】

1. 各科目の授業時間＝1回2:40（途中で10分休み）/ 進捗状況, 組により3時間あり
2. 各組とも、原則として毎月、英語4、数学4、国語2、理社4の合計14日間。
3. 原則として、祝祭日も授業は行う（ただし、5月の連休に例外あり）。
4. 学校行事、塾の行事（運動会、講習会など）で、曜日、時間に変更になる場合がある。
5. 総体のある7月は、原則として、7:20～9:00の時間帯となる科目がある。

振替受講制度：特別な理由で受講できない授業あれば、申請により他の組での受講を認める。

〔注〕特別な理由＝学校行事（部活等）、法定又は突発的病気、家庭の冠婚葬祭 等に限る。

欠席、遅刻、早退に関して

・中3生徒は入試をひかえ、1つ1つの授業が非常に重要であり、1回の授業時時間が2時間40分と長く、密度も濃いので、できるだけ、欠席、遅刻などをしないこと。

① 部活など特別な理由で遅刻の場合は、塾の事務室入口（玄関口）から入り、「遅刻確認表」に氏名、理由等を記載してから教室に入ること。

② 欠席、遅刻の場合は、保護者が塾へ電話連絡すること（後日の連絡でも可）。

連絡時間帯：午後3:00～9:30〔留守電の場合は伝言を入れること/火曜は定休日〕

③ 何らかの理由で早退する場合は、生徒は、必ず講師に伝えること（無断の早退は不可）。

→ 早退のときは、塾から保護者へ電話連絡し、状況によっては、迎えをお願いする。

担当講師

文 系： 足立 達人（長生高，慶応大） 足立 圭司（長生高，早稲田大）
 松田 良和（長生高，専修大） 岡本 幸大（長生高，駒澤大）

理数系： 齋籐 茂（長生高，千葉大） 足立 光行（長生高，早稲田大）
 高山 和輝（長生高，明学大） 内山 煌大（千葉南高，敬愛大） 村上 直樹（長生高，日本大）
 土屋 航（長生高，早稲田大） 長南 京佑（長生高，東洋大）

事務担当： 足立 美佐江 野坂 彩那

月 謝・諸費用

月 謝 — 1ヶ月 18,500 円（消費税別） 入学金 — 無 料 光熱費等 — 無 料

・入塾時（進級時）に，以下を月謝と共に納入。3月の月謝は割引き（別紙参照）

年間プリント代，諸雑費（1年分） — 13,000円 [入塾月に納入]（税別）

塾テキスト代（5科目，1年分） — 9,000円 ["]（"）

塾模試代（業者テスト/1年分） — 9,000円 ["]（"）（一部を塾が負担）

【注】・会場テスト代金（12月）は含まず（→各自が負担（代金一部を塾が負担））

・第3回（8月）と第8回（1月）は講習代金に含む。第9回（当塾作成）は無料

配 付 物 ・英 語 — 塾テキスト＋問題集1冊，英語教科書テキスト5冊

（1年分） ・数 学 — 塾テキスト1冊，数学教科書テキスト7冊

・理 科 — 塾テキスト1冊，受験用問題集1冊

・社 会 — 塾テキスト3冊（歴史，地理，公民の各1冊ずつ）

・国 語 — 塾テキスト1冊，入試用漢字範囲表13部

・塾プリント保存用バインダー10冊（通常の英数国理社＋入試直前対策用5冊）

注 意 事 項

- ① 月謝（消費税含む）は，原則として，銀行口座からの振替（引落）とする → 口頭で説明。
- ② 中途入塾の場合は「年間プリント代，諸雑費」の分を月割りで減額する。
- ③ 中途退塾の場合は「年間プリント代，諸雑費」の分を月割りで返却する。
- ④ 兄弟姉妹の同時在籍者は，双方の全費用，月謝を約20～30％割引く（別紙参照）。
- ⑤ 夏期講習，冬期講習の代金は別途納入。夏講のある8月分月謝は通常金額よりも割引く。
- ⑥ まじめで勉学意欲のある生徒で，家庭の経済的理由がある場合に，保護者からその旨の^{むね}申し出があった場合は，全費用，月謝等を相談の上で割引くこととする。